

令和4年度(2022年度)第4回川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)9月10日(土)9:30~12:00
場所	川口中学校1階 被服室
出席者	<p>参加者：荒井、荒木、稲原、久保、高野、外山、内藤(佳)、中村、古田、前川、安田、山口</p> <p>高齢者あんしん相談センター川口：小林、太田</p> <p>第1層生活支援コーディネーター：今泉</p> <p>はちまるサポート川口：田中</p> <p>町会・自治会防犯灯担当課長：塩澤</p> <p>拠点整備部都市整備課：相川、渡辺</p> <p>川口土地区画整理組合事務局：岡</p> <p>まちなみ整備部公園課：大木</p> <p>八王子地域 PAL-ETTE：佐藤、清水</p> <p>川口中学校校長：鷲尾</p> <p>未来デザイン室：野田、安齋、牧瀬</p> <p>(株)RPI：岩崎、笠原、伊藤</p>
見学者	八王子未来 CAN-VAS：石井
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度(2022年度)第4回川口中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 地域づくりの未来像 ・資料2 他市事例の紹介 ・資料3 (仮称)天合峰公園について ・参考 川口中学校区地域づくり推進計画(抜粋) ・参考 長期ビジョンに関する高校生及び大学生ワークショップ開催レポート(総括のみ)

1 開会

未来デザイン室から挨拶。

新たな参加者である久保氏から挨拶。

2 本日の議題確認

会議資料をもとに、本日の検討事項を確認。

3 議題

(1) 部会活動の共有

会議資料をもとに、部会ごとに直近の活動内容や検討事項等を共有した後、全体に報告を行った。全体への報告概要は以下のとおり。

【報告概要】

<マルシェ部会>

- ・今回のマルシェ出店者を選定していくに当たり、川口地域には多くの作家や農家の方がいるにも関わらず、地域の人に知られていないことが判明した。
- ・SNS では有名でも、川口では知られていない状況があることを踏まえ、今後は定期的にマルシェを開い

ていくことを目標としたい。住民協議会との合同開催では、年1回しか開催できないため、拠点を何ヵ所か設置したうえで定期的を開催していきたい。そこで、推進会議参加者からは、拠点となり得る場所や協力者の情報提供をいただきたい。

<カレンダー部会>

- ・10～12月分の第2号発行に向けて作成を進めている。
- ・第1号の発行後、子どもの目に届いていなかったことや、配布先での持ち帰りが少ない等の課題が見えた一方で、地域行事の重なりが確認できて良かったとの声も届いている。
- ・改めて、何のためにコミュニティカレンダーを作成するのか、作成の目的を考えないといけないことが喫緊の課題。
- ・今後の運営について、はちまるサポート川口への協力を仰ぎたいという話もあったが、推進会議は住民主体で進めることが前提のため、はちまるサポート川口は場所やボランティア探しについて協力するとの回答があった。
- ・参加者に制約がある行事もあるため、地域住民の多くが参加できるものを載せていきたい。
- ・町会向けには、回覧より掲示板を利用して目立たせた方が良く、紙ではなくインターネット上などにプラットフォームをつくって、閲覧者を確認できるシステムがあれば成果を把握できる等の意見もあった。現在は個々の町会が別々に行事のお知らせを作って配布しているが、情報を集約することに価値がある。
- ・個々にお知らせを回覧しているものを1つにまとめられるのは良い。最終的には、SDGsの観点から紙に限らず情報発信できる方法を考えていきたい。

(2) 運営担当打ち合わせの報告

会議資料をもとに、運営担当打ち合わせの内容について、荒井氏から推進会議の今後のあり方、地域の課題解決のために必要な行政からの情報提供、地域全体で課題を解決するために優先順位をつけて取り組むことの重要性について議論されたことが報告された。

(3) 令和4年度(2020年度)の推進会議の検討事項確認

会議資料をもとに、今年度の検討事項は「優先的アクションプランの試行・検討」「2推進会議の仕組み・体制づくり」「その他のアクションプランの検討」であることを確認した。

(4) 地域づくりの未来像共有

会議資料をもとに、地域と行政が協力して取り組んでいく地域づくりの未来像や、地域づくり推進会議の体制のイメージについて説明するとともに、他市事例の紹介を行った。意見交換の内容は以下のとおり。

<意見交換>

- ・推進会議がどの程度地域に認知されているのか疑問。地域の課題を考える代表者が集まる組織として位置付けてほしい。

推進会議参加者は各団体の代表として参加しているので、所属する団体にも周知をお願いしたい。

11月に開催予定の地域フォーラムを活用し、より多くの方が参加することで地域づくりも認知されていく。市も広報活動を行っていくが、現在取り組んでいるコミュニティカレンダー等を含めて、地道に活動を広げていくことが必要ではないか。(未来デザイン室)。

- ・行政の地域における役割について、どのように考えているのか。守谷市の事例では、どんな役割が示されているのか。

守谷市の事例でも地域と行政の“つなぎ役”について示されている。本市でも地域と行政をつなぐ職

員についての検討を進めている。地域の課題解決について、これまでの分野ごとの視点に加え、地域単位で分野横断的に捉える視点を本市職員にも根付かせていきたい。(未来デザイン室)。

・市内の情報共有が本当にうまくいくのか。その点は、長期ビジョンでも明確に表現しないと具体的に進まない。地域づくりの未来像のイメージ図の協議機関の中に、市のつなぎ役の役割もきちんと加えるべき。

庁内の体制については、検討を進めているところ。話ができるタイミングで共有させていただきたい。

また、イメージ図における市側の関わりについても、今後、地域づくり推進計画として整理をしていく形となるので、その際に相談をさせていただきたい。(未来デザイン室)

(5) 推進会議の運営に関する検討

資料をもとに、地域づくりを住民主体で進めていくための推進会議の運営のあり方について今一度検討したい旨を説明したうえで、各自または団体として感じている地域課題について2グループに分かれて検討し、その後全体に報告を行った。全体への報告概要は以下のとおり。

【報告概要】

<A グループ>

・まずは、担い手の育成。推進会議自体も年齢・性別に偏りがある。特に子育て世代は、地域活動の場に出る時間が取りにくい。子どもを見てくれる場を設けるなど、参加しやすい環境が必要。

・新しく入ってきた住民も、余裕がなく参加しにくい状況がある。すぐに役員となるのは大変なので、部分的に参加してもらうことで、今後につながるのではないかと、自分が受けた恩を次の世代につなぐ「恩送り」の考え方を感じてもらうのが良い。

<B グループ>

・子どもの給食の安全性が必要ではないか。市内の給食は、八王子産の野菜の使用率が35%程度のため、地域で作っている農作物や有機農法の野菜をもっと取り入れたい。

・推進会議参加者も増やしていく必要があるのではないかと、当初に比べ人数が減ってきている。新規参加者を増やすため、川口地区に対する地域づくりの魅力向上やアプローチの実施、他のネットワークも取り入れていくといった工夫が必要。

・防災。自主防災組織の加入率が高いことに着目し、防災の視点で地域をひとつにしていきたい。

・交通手段も重要である。50代くらいの方は、交通手段が少なくなってくる不安から、地域を出ることを考えている。有償ボランティアによる高齢者への移動支援の情報も行き渡っていないので、その情報を伝える取組が必要。

・担い手の不足は喫緊の課題。各地域団体がどのようなサポートを必要としているのかを明確にして募集情報を発信した方が有効。若い世代が入れる、若い世代が魅力を感じる活動、関わりやすい時間設定などの工夫が必要。

上記を踏まえ、推進会議を自立的に運営していくためのしくみについて、引き続き2グループに分かれて検討し、その後全体に報告を行った。全体への報告概要は以下のとおり。

【報告概要】

<A グループ>

・意見を求めるにしても、推進会議の存在が十分に認知されていない。

・地域での意見収集は、推進会議の意見に偏りがないようにする必要がある。

・先日実施した川口中学校のアンケートでは、紙で実施した時は回収率8割だったが、WEBでは6割に低下した。WEBアンケートは、手元に残らないため、忘れられてしまう傾向であり、ある程度紙での実施も必要。

・推進会議の認知に向けて、団体や企業経由の周知の他、マルシェを活用してはどうか。未来デザイン室でブースを設置してもらい、地域カルテやリーフレットを配布してほしいとも考えている。

未来デザイン室のブース設置については、室内で検討をしているため、後日回答させていただく。(未来デザイン室)

・川口連合町会の特集号(10月中旬)を使って推進会議のピラを作りたい。掲載内容は一任いただきたい。認知が広まることは、意見収集にもつながる。作成した原稿はマルシェで配布する等、今後活用していくことも想定している。

異議なし。(参加者)

<B グループ>

・住民の意見の集約方法について、町会ではコロナ禍の影響で対面によらず、書面によって行った事例がある。

・若い世代には二次元コードを付けてWEB回答を実施した方が回収率向上につながる。推進会議に意見が集まることで、情報や人が広がるような場になるとよい。

上記を踏まえ、今後、事務局で内容を整理し、運営担当の皆様とも調整をしながらしくみに関する内容を整理させていただきたい。

4 市からの情報提供

資料に基づき、都市整備課より(仮称)天合峰公園整備の事業計画について説明を行った。質疑の内容は以下のとおり。

【質疑内容】

・天合峰公園の整備については、協議会で検討してきたが、協議会参加者の視点だけではなく、広く意見を求めたい。各団体でも情報共有し意見集約をしてほしい。オートキャンプ場を活用したマルシェの開催など様々な活用方法がある。各団体で集約した意見はどこに連絡すれば良いか。

未来デザイン室に御連絡をいただければ、都市整備課等に共有させていただく。(未来デザイン室)

・若い世代に情報発信するのであれば、漠然とした情報ではなく、各エリアの保全活動や活用方法に関する情報も載せる必要がある。単に「いきものの森」と記載しているが、貴重な生き物が生息しており、保全すべきエリアであることは資料からは読み取れない。

本日は、時間の制約があるなかで概要のみを説明させていただいた。今後進展があれば情報を随時更新していく。(都市整備課)

5 意見交換

・中学校の部活動は地域に移行する方針が出ているが、川口中学校の計画は立っているのか。

部活動の方針は学校独自で決めるものではなく、市全体で進めていくもの。市の方針が出次第、地域の方にも協力を仰ぎながら進めていきたい。(川口中学校長)

・市立小学校 PTA 連合会のホームページに、「小規模校を楽しもう」というリンクが掲載されているのでぜひ見て欲しい。そこには、川口地区の美山小学校と上川口小学校が掲載されている。

閉会

第5回推進会議及び地域フォーラムの開催日程について確認を行った。

第5回推進会議: 令和4年(2022年)10月15日(土)9:30~12:00

地域フォーラム: 令和4年(2022年)11月26日(土)14:00~16:00

以上